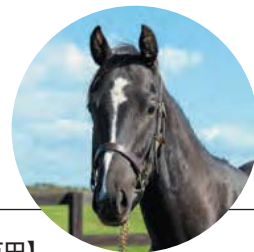


# ブエラの20

牡 2020年4月29日生 | 青毛 | 道営・佐々木国明厩舎 | サンバマウンテンファーム生産



一口価格: **11,000円**

※※地方募集馬は競走馬保険の加入はありません

募集口数: 500口【競走馬出資金総額 550万円】



## 治郎丸敬之の馬体診断

上の兄弟姉妹が募集されていた馬に関しては、どうしても比較してしまうこととお許しください。(特に同性の)兄弟姉妹がいる方は共感してもらえると思いますが、並べて比べてしまうと、人間はどうしても優劣を付けたくなるものです。しかし、サラブレッドの場合は往々にして父が異なることが多く、単純に比較して優劣を決めることにさほど意味はありません。それよりも、どのように個性が違うのか、それぞれの美点と欠点を見分けることが大切ですね。ブエラの20は父がキンシャサノキセキからノボジャックに変わり、性別も牡馬となり、ひとつ上の姉とは全く違う馬体になりました。昨年の募集馬カタログをお持ちの方は比較してもらえればと思いますが、胸部が詰まってコロンと映った姉と比べて、同馬は手肢にも長さがあり、胸部には伸びがあって、奥行きを感じさせる馬体ですね。マイルまでは距離が延びても十分に対応できるはずですが、馬体のサイズが小さいのは課題ですが、おそらくブエラの20は骨格がゆったりしているため姉よりも大きくなるのではないでしょう。

## POINT

1つ上の姉のブエラプーラ(父キンシャサノキセキ)は、2歳4月にデビューし、わずか5ヶ月の間に8戦を経験して2勝。南関東への移籍を決めました。早期デビューが求められる道営デビュー馬とは言え、仕上がりの早さと頑健さがプラスに働いたことは言うまでもありません。本馬は募集時点では幼さが目立つ馬体には映りますが、すでに前駆には立派な筋肉がついています。そして腰高な馬体を見るに、成長の余地は多分に残されていることがうかがえます。父ノボジャックの血統構成からダートへの適性は疑うまでもなく、パワフルな走りを身に付け北の大地からの大出世を狙います。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。